

# にくけん通信

●茨城県の種雄牛の育種価がR2年4月に更新されました。

名号	脂肪交雑		枝肉重量		ロース芯面積		バラの厚さ		皮下脂肪厚		歩留基準値		後代数	備考
	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度		
北国関7	2.397	0.991	50.957	0.989	11.516	0.988	1.473	0.987	-0.124	0.99	2.031	0.989	3029	基幹種雄牛
北平5	2.135	0.954	119.809	0.94	9.695	0.933	1.604	0.924	-0.238	0.943	1.135	0.942	52	基幹種雄牛
茂光洋	2.664	0.948	36.685	0.933	11.03	0.925	0.511	0.916	-0.248	0.937	1.591	0.935	42	基幹種雄牛
日出丸105	2.469	0.929	50.584	0.909	13.007	0.899	1.369	0.887	-0.489	0.913	2.557	0.911	28	基幹種雄牛
塙安福	3.016	0.915	36.463	0.892	16.503	0.882	0.769	0.868	-0.579	0.898	2.804	0.895	21	一般共用種雄牛
北平関	2.616	0.92	141.93	0.898	11.947	0.888	2.106	0.875	0.248	0.903	1.124	0.901	22	R1年度検定終了
百合宏	2.356	0.927	44.012	0.907	11.152	0.897	0.929	0.884	0.372	0.912	1.307	0.91	28	R1年度検定終了

●県種雄牛が脂肪交雑の育種価ベスト20に、**6頭ランクイン!!**

●R2年4月時点の育種価では、脂肪交雑以外の指標でも、**県種雄牛が大健闘!!**

●待望の「北国関7」号の息牛、「北平関」号がまもなくデビュー

R1年度は、県内の改良組合の協力により行っている後代検定事業において、3頭の種雄牛の成績を取りまとめました。

名号	父	母の父	母の母の父	母の母の母の父
北平関	生年月日			
	北国関7	勝忠平	金幸	紋次郎
	平成26年3月28日 常陸太田市 川又 覚氏			

名号	父	母の父	母の母の父	母の母の母の父
百合宏	生年月日			
	茂洋	百合茂	北国7の8	寿高
	平成25年1月2日 常総市 佐藤 宏弥氏			

名号	父	母の父	母の母の父	母の母の母の父
北勝関	生年月日			
	北国関7	勝忠平	福栄	北国7の8
	平成26年11月3日 常総市 佐藤 宏弥氏			

●県種雄牛の脂肪交雑育種価ランキング

No.	名号	育種価	正確度	後代数	所有者
1	塙安福	3.016	0.915	21	茨城県
3	茂光洋	2.664	0.948	42	茨城県
5	北平関	2.616	0.92	22	茨城県
9	日出丸105	2.469	0.929	28	茨城県
13	北国関7	2.397	0.991	3029	茨城県
17	百合宏	2.356	0.927	28	茨城県

※脂肪交雑育種価の正確度0.8000以上の種雄牛を抽出しています

●県種雄牛の指標別ランキング

名号	脂肪交雑	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	備考
北国関7	13位	70位	48位	13位	基幹種雄牛
北平5	35位	6位	83位	6位	基幹種雄牛
茂光洋	3位	103位	60位	113位	基幹種雄牛
日出丸105	9位	73位	33位	19位	基幹種雄牛
塙安福	1位	104位	8位	81位	一般共用種雄牛
北平関	5位	1位	41位	1位	R1年度検定終了
百合宏	17位	92位	57位	62位	R1年度検定終了

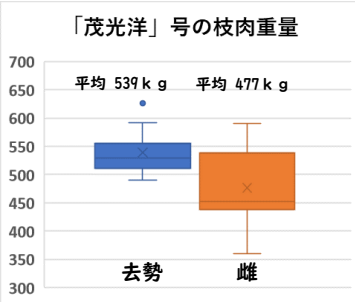
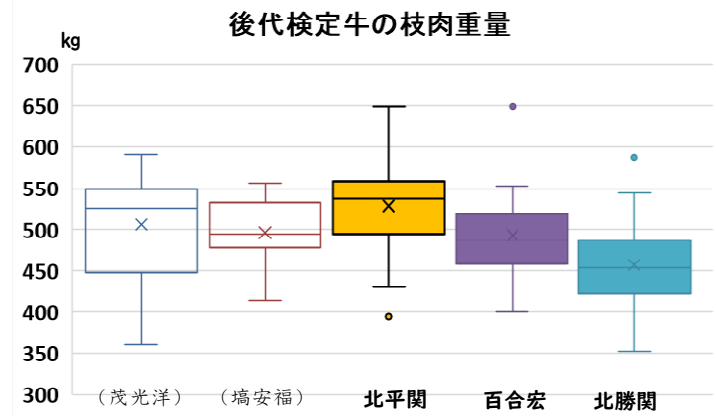
※赤字：10位以内 青地：20位以内

R2年4月時点の育種価で、「北平関」号が空前絶後の**好成績!!**

- 枝肉重量とバラの厚さ **1位**
- 脂肪交雑 **5位**
- ロース芯面積 **41位**
- 研究員所感：子牛を当所に導入した時点で大柄で背線が強く、長脚でした。後代検定では出荷月齢が去勢29か月齢、雌32か月齢未満に決められていますが、それ以上に肥育してもまだ太る（大きくなる）余裕がありました。

●「茂光洋」号の産子は、R2年4月までに**447頭**が市場に上場され、続々と肥育成績が判明しています。当所が把握している38頭のデータでは、

- 枝肉重量：去勢で500kg超えを連発
- 格付け：A-5等級率が82%、A-4等級以上率が95%と安定した成績



●「茂光洋」号の格付け

	4等級以上率		脂肪交雑(平均)
	5等級率		
去勢	95%	77%	9.0
雌	94%	88%	8.5
計	95%	82%	8.8

※後代検定と一般出荷をまとめた成績です

本県の種雄牛は、これまで2代、3代と優良な血統が繋がったことがありません。そのため、当所では、「北国関7」の息牛について、積極的に種雄牛の造成を図ってきました。新型コロナの影響で改良委員会等の開催が遅れ、皆様方にご迷惑をおかけしておりますが、取り急ぎ手続きを行って、待望の「北国関7」号の息牛が近々にデビューします。また、当所では、「茂光洋」号の息牛、異母3兄弟(「茂照国」、「那珂茂晴」、「茂忠6」号)についても、現在、改良組合の協力のもと、後代検定牛の育成等を行っています。  
**和牛の育種・改良に県種雄牛の精液を積極的に活用し、常陸牛の歴史を共につむぎましょう!**